

東海自然歩道「河原峠、石水溪～鈴鹿峠～靴掛、柘植」

(報告) Hama

◎日程 2017年6月23日(金)～25日(日)

◎メンバー Hama (L)、Sachi、他1名

東海自然歩道は梅雨の時期を避けて実施してきましたが、今年はラストスパートをかけるべく梅雨の時期にも決行することにしました。が、参加は3名のみとなり、小生の家内は前月の東海自然歩道で痛めた膝の状態が悪いので、初日の川原越はパスさせることにしました。

6/23 小生の家内を桑名に残し、養老鉄道的美濃津屋駅から岐阜コースで先送りとしていた川原越を2名でピストンです。梅雨入りしたというのに晴天で蒸し暑く山道に入るまでの20分くらいでもう汗だく。山道に入ると風の通らない樹林の急登をひたすら登ります。「ここはマムシ、ヤマビルが生息地です」と、なんとも恐ろしい立札があって休むこともできません。それでも頑張って歩き、峠まであと400mくらいでしょうか、最後の急登に差し掛かるところでルートに覆いかぶさった木を手で払うとトゲがびっしり付いたバラの木(葉の感じからサンショウバラ)でした。シャツやザックに絡まった固いトゲをなんとか外して後退り。山側は脆い急斜面で越えられず、足下は崩落していて下を潜ることもできません。トゲに刺さった痛みと暑さ、単調な景色の連続、寝不足と疲労感でいつぱんに心が折れ、即決で峠まで登るのは断念して下山することにしました。



(殆ど斜面と化した河原越への登山道)

美濃津屋駅から桑名に戻り、桑名観光(七里の渡跡、蟠龍櫓、六華苑など)を楽しんだ家内と合流し宿泊地の亀山へ。夕食までの時間つぶしに、ぶらぶら歩いて東海道亀山宿の町並みや亀山城の散策をしました。夜は、ご当地グルメといった感じの店を見つけることができなかつたので、どこにでもあるファミレスの「和食さと」で食べ放題の「さとしゃぶ」をしっかりと食べました。



(亀山宿の古民家)

6/24 ホテルで朝食を食べ、コンビニで行動食と飲み物を調達して亀山駅前からコミュニティバスで石水溪方面へ。バスの終点の池山西バス停から石水溪までは県道歩きで、新東名高速道路を潜ったあたりから東海自然歩道となります。整備されたキャンプ場が石水溪の入り口で、美しい溪流に沿って林道安楽越線を登って行きます。途中、車を止め沢歩きの準備をしているパーティがいました。今日のように暑い日は沢ですよねえ。



(石水溪 入口)



(石水溪の清流)

我々とはいうと、あんなに嫌いだった舗装された林道歩きをヤマビルの心配がないというだけで嬉し
がって歩いています。が、アスファルト道のダラダラ長い登りは暑いなの。沢が無くなり、なんと
なく高原っぽい景色になってきたら安楽峠の道標がありました。三重県と滋賀県の県境です。峠から滋賀
県土山町の山女原（あけびはら）に下り、集落を抜けてやっと本日初の山道に入り鈴鹿峠への登りとな
りますが、鈴鹿山脈の稜線（県境）の縦走路まで登ってから稜線を峠に下るというルートです。稜線ま
では痩せ尾根の急登もあり結構応えました。そして、やっとのことで辿り着いた鈴鹿峠は茶畑でした。
鈴鹿峠の指導標からルートとは反対側に少し歩くとトイレもある広い公園があり、そこに有名な常夜灯
がありました。巨大な石灯籠です。良い公園で丁度お昼でもあったのでここで大休止。到着したときは
夫婦連れのハイカーが2組だけでしたが、食事が済んだ頃に旧東海道巡りのバスツアー客の大群が到着
したので我々は退散することにしました。



(鈴鹿峠)



(鈴鹿峠の常夜灯)

旧東海道名残りの石畳の道を下り、国道1号に出て旧東海道の入り口に到着するとバスツアーのバス
が3台。鈴鹿峠で出会った団体を国道1号の滋賀県側トンネル入り口で降ろし、ここで客が下りてくる
のを待っているようです。乗せてほしいなあ、と思いつつ我々は徒歩で旧東海道を歩きます。休み休み
歩いて坂下宿から東海自然歩道の分岐点である沓掛まで辿り着き、沓掛から先のコースの様子を見てみ
ると、最初に渡る狭い橋には枯葉が積もっていて、その向こうは草ムラ。いかにもヤマビルの餌食とい
った感じのルートではないですか。明日はタクシーでここままで来て歩行開始ですが、天気も悪そうだ
しどうしたものかと思いつつ、暑いなか国道1号を延々と歩いて関宿へ。いや～関宿は遠かった。関宿
は宿場街の風情が残っていて駅の近くは観光客も多く、思っていたより観光地でした。亀山茶目当てで

関駅に隣接している道の駅に寄りましたが、探していた水出しもできるティーパックが無く残念。その代わりに、火照った体に嬉しい亀山茶ソフトをいただきました。これはなかなか美味かったです。このルートは歩行距離が長かったのと、暑さでほんとうに草臥れました。が、楽しかったです。

夜は、なにも亀山まで来てラーメンを食べなくてもとは思いましたが、店を探すのも面倒だったのと、ホテルの側でもあったので「荻窪ラーメン」に入りました。折角なので小生は「亀山店オリジナルラーメン」にしましたが、亀山名物がトッピングされている訳でもなく辛くない坦々麺という感じでした。

6/25 明方近くは激しい雨が降っていて、午前中は雨の予報。しかも、林道以外の山道は相当荒れているとの情報もあり、ヤマビルも大量に出そうなことから沓掛から柘植までの区間は中止としました。ホテルでゆっくりして9時前にチェックアウト。一応次回のためにJR関西本線で亀山駅から柘植駅に向かい、柘植駅から少し歩いたところにある東海自然歩道の指導標と歩く方向の確認をしました。柘植駅からはJR草津線で草津駅、草津駅からJR琵琶湖線で京都駅へと乗り継いでお昼前に京都駅に到着しました。結構なローカル線の旅でした。このまま京都から帰るのは勿体ないので、コインロッカーにザックを押し込み清水寺へ歩いて行くことにしました。途中、東大路通の東山閣でお得なランチバイキングを楽しみ、国道1号に再会して五条坂、松原通から清水寺の仁王門へ。相変わらずの混雑ぶりで、外国人観光客が多くなったとは聞いていましたが大半が外国人。清水寺は残念ながら本堂の改修工事で「清水の舞台」も覆われているので拝観はせず、茶碗坂を下り京都駅に戻ることにしました。蒸し暑く喉が渴いたので五条坂入口あたりの甘味処で一休み。少々値が高く感じる「冷やしあめ」を頂きましたが、生姜を削って足せるようになっていて味も良く、喉の渇きには有難い逸品でした。(お店は「憩和井 清水五条店」)

今回は、3日間のうち予定通りのコースを歩いたのは1日だけとなりましたが、電車を使ったにせよ柘植までは駒を進めたということにしたいと思っています。そもそも鈴鹿峠と宿場巡り以外はこれといったビュースポットも無かったので、これで十分ではないでしょうか。



(関宿の街並み)



(外国人観光客で賑わう清水寺)

《記録》

6/23 養老鉄道・美濃津屋駅 10:10—11:25 峠まで 400m 付近で折り返いし—12:40 美濃津屋駅 12:57
—13:37 桑名駅 (桑名駅から亀山駅に向かい亀山にて宿泊)

6/24 亀山駅前 (亀山市コミュニティバス) 7:37=8:02 池山西バス停—8:25 石水溪—9:40 安楽峠
—12:00 鈴鹿峠 12:35—14:00 沓掛—15:10 関宿—15:55 関駅 (亀山にて宿泊)

6/25 JR 関西本線・亀山駅から柘植駅、草津駅経由で京都駅へ 京都駅から清水寺への散策。15:00 京都駅解散